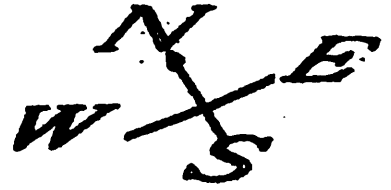


エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称 エコネット)

2007年 7月 1日
第158号



主 遺伝子組み換え食品学習会
な 環境フェア2007開催
記 ・ごみ有料化延期請願と議会の結果
事 ・100万人のキャンドルナイト

事務局〒252-0816 藤沢市遠藤849-9 青柳
☎/FAX 0466-87-4922(夜間のみ)
<http://comcom.jca.apc.org/econet/>

環境週間に想うこと

～ちょっとたちどまってふりかえる～

環境デー、あるいは環境週間の催しが主として地方自治体の恒例行事になったのは、たしか'92年の国連ブラジル会議がきっかけだったように思う。そして多くの場合、それは4月下旬に設定されているが、その理由は世界を揺るがしたチェルノブイリ原発事故の反省に基づく環境NGOの提言によるものであった。

わたし自身が環境問題に関心を持つようになったのは、'69年に善行団地自治会活動の延長線上で生協を設立してからのことである。当時の団地住民とりわけ主婦たちの大きな関心事は高物価・公害からいかに家計と家族の健康を守るか、ということであった。この時期にマスコミをにぎわした公害問題と言えば水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそく、サリドマイド禍、森永砒素ミルク事件といった高度経済成長の陰の部分で起こされた産業に起因する公害が人々の命と暮らしを脅かした社会問題とすることができる。

その後、スリーマイル島原発事故、チェルノブイリ原発事故が引き起こされ、国家による犯罪的な環境破壊が問題になった。この時点で多くの市民団体とそのリーダー達は、地球環境を守るためには政治＝行政を変えなければ安全な暮らしを実現することができないこと、さらに国際的な情報ネットワーク、運動交流が不可欠であることに気がついた。

ブラジルにおける国連環境会議は、環境NGOの協力を得て地球環境の危機に関して認識を共有化し、環境と開発との矛盾を乗り越えて持続可能な新しい社会・経済システムの構築に向けた検討を共通のテーマとする上で成果をあげたが、その後の経過——なかならず地球温暖化を止める『京都議定書』の具体化をめぐる足踏み状態にあることは残念の極みである。

目線を足元のわが街藤沢に移すと、環境基本条例が制定されてからのおよそ10年間に起こった事例は大気汚染、河川汚濁、ごみ処理など多岐にわたるが、この度のごみ回収費有料化のケースは地方自治の根幹にかかわる問題であると言わねばならない。古来わが国には『立つ鳥あとを濁さず』という諺がある。退場を表明した市長が『後は野となれ山となれ』と言わんばかりの今回の処置に、怒りを覚えているのは私だけではあるまい。市政を根本から問い直す市民の運動が待たれる所以である。

(井之川平等)

「食べていませんか？遺伝子組み換え食品」学習会から

環境月間の6月初め、遺伝子組み換えという、最近名前は聞くが、どのようなもので、どんな危険があるのかの初歩からの学習会が開かれた。講師はグリーンピース・ジャパンのアキコ・フリッドさん。彼女はスウェーデン在住の日本人だ。

グリーン・ピースでは「トゥルーフード・ガイド」という、遺伝子組み換え食材を使っているか否かが一目で分かる商品・メーカーリストの小冊子を世界の国々で200万部以上も発行している。日本でも昨年第1号を発行し、第2号の準備をしている。

現在出回っている遺伝子組み換え（GM Genetic modification）の作物は、大豆、菜種、とうもろこし、綿の4つの作物で、特定の除草剤をかけても枯れない性質と、特定の害虫を殺す殺虫性をもつ作物が作り出されている。生産地は主にアメリカ及びカナダだ。日本では商業栽培は行われていない。

除草剤に強いGM作物には、ランドアップという、分解されにくい除草剤（枯葉剤）が多くその作物に使用され、残留している可能性がある。また、殺虫性があるGMとうもろこしは大量に家畜のエサとなってアメリカから日本に輸入されているが、それが動物から人の口に入り、どのような影響をもたらすのか、まだ食べ初めて10年なので、はっきり分かっていない。アレルギーを引き起こす恐れや、ラットの実験では、オスに凶暴性が現れたという報告がある。

遺伝子組み換え種子は、モンサント社という、アメリカに本拠を置く大企業が90%以上を開発し、特許を持っている関係で、他では研究できない。種子の特許は生命特許であり、種を独占することは、人類の支配につながることになる。

大豆、菜種、とうもろこし、綿の4作物を原料とする食品には、植物油、みそ、醤油、ドレッシングなど調味料から、豆腐、納豆、豆乳など大豆製品、スープ、インスタント麺、冷凍食品、菓子類など毎日口にするほとんどの食品に広がっている。日本は自給率40%で、半分以上を輸入に頼っている。特に大豆は自給率5%（2005年）で、95%輸入、その内、75%はアメリカ産である。アメリカでは遺伝子組み換え作物が商業的に栽培されていて、大豆では85%を占める。米産有機栽培と表示されていても、それは遺伝子組み換え作物かもしれないということだ。

アメリカでは、遺伝子組み換え作物を育てている農家の隣接地で、その遺伝子が知らぬうちに隣の農家の作物に紛れ込み、特許を持つ企業から訴えられたなど、意図しない混入が起こっている。自然界に遺伝子組み換え作物など人工的生命が放たれば、交配により、無制限に増殖し、生態系のバランスを崩し、環境を脅かす。

日本では遺伝子組み換え作物の商業的栽培は行われていないが、遺伝子組み換えコーラ（ナタネ）がカナダから日本に輸入されるときこぼれ落ちた種が自生し始めている。

ヨーロッパでは一般的に「疑わしいものは許可しない」という「予防原則」の考え方で、遺伝子組み換え表示（GM表示）に対しても、すべて表示対象であるが、日本では含有率が5%以下なら、「遺伝子組み換えでない」と書いても良いのだ！ また、油、醤油、飼料などは表示義務もない。また加工品などは3番目に多く含まれる原料まで表示すればよく、4番目からは表示しなくとも良いのだ。

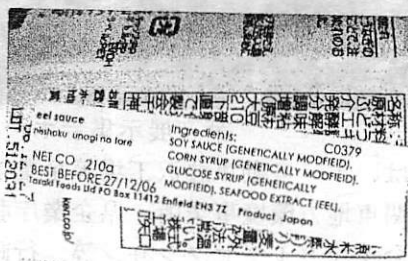
このように甘い表示では消費者が選ぶこともできない。それで、グリーンピース・ジャパンの「トゥルーフード・ガイド」が役に立つ。

また、有機JAS規格（日本農林規格）を満たしている有機JASマークも遺伝子組み換え原料使用は認められていないので、選ぶ目安になる。

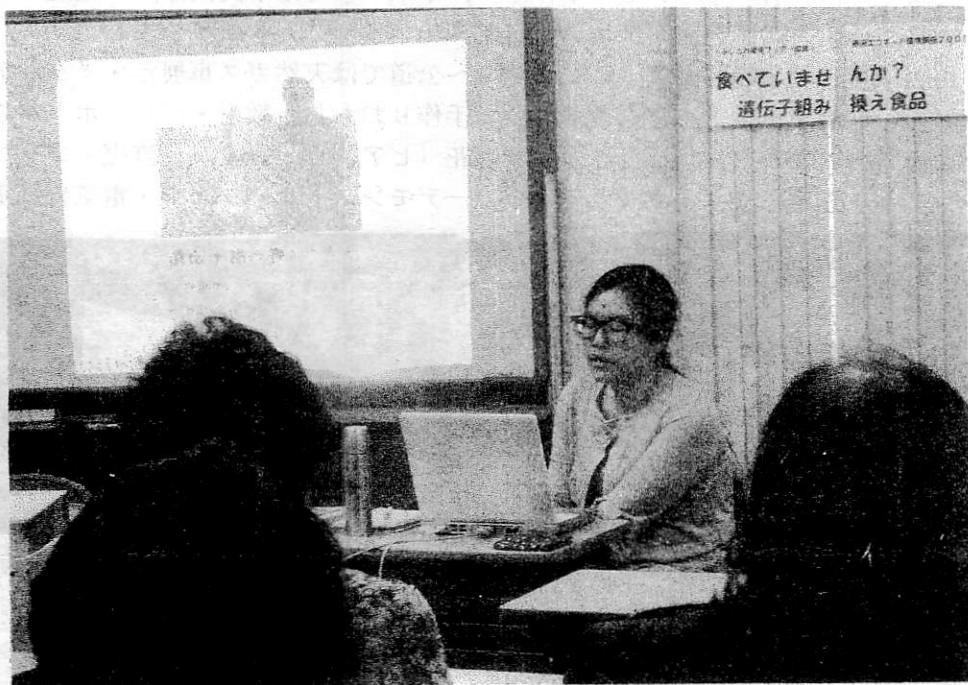
遺伝子組み換えの問題は動植物の生態系に大きく影響し、生命特許まで含む、とても奥の深い問題だということを学んだ。
(青柳節子)

・有機JASマークについて

このマークのついた食品は有機JAS規格（日本農林規格）を満たしています。有機JAS規格では遺伝子組み換え原料の使用は認められていませんので、このマークのものはグリーンとなります。



日本製「うなぎのたれ」のパッケージに貼られた英文の遺伝子組み換え表示（英国の店頭で）。日本では同じ商品に遺伝子組み換えの表示はありません。



第12回ふじさわ環境フェア2007開催

テーマ：とめよう地球温暖化～見つめ直そう、私たちの暮らし～

6月23日（土）24日（日）に藤沢市民会館及び奥田公園多目的広場で行われました。
主催：藤沢市企画・運営：ふじさわ環境フェア2007企画委員会

（ふじさわエコパートナーごみ部会OB会・かながわ環境カウンセラー協議会湘南支部・
県地球温暖化防止活動推進員湘南グループ・藤沢探鳥クラブ・藤沢環境運動市民連絡会議
（藤沢エコネット）・くげぬま探求クラブ・日本大学生物資源科学部・藤沢メダカの学校
をつくる会・同PTA・パシフィックエコサービス・新日本婦人の会藤沢支部・東京電力
藤沢支社の方々と構成）事務局は藤沢市環境部環境管理課



環境川柳受賞式

第一展示集会ホール

前庭の本部

当日の参加団体はいすゞ自動車藤沢工場等企業13社、片瀬おもちゃの病院等市民団体29団体、環境省関東地方環境事業所・県企業庁藤沢水道営業所・県環境農政部大気水質課・藤沢市環境保全課など11セクション等、行政から14団体合計56団体。

第一展示集会ホールでは、各団体の環境パネル展示・エコ製品の紹介・ホテル観賞コーナー第二展示集会ホールでは、美化推進ポスター「環境川柳」展示・おもちゃの病院・ふじさわメダカ展示・石けんしゃぼん玉あそび、第一会議室では「ソーラークッカー工作」第二会議室では「省エネコンセント作り」、小ホールでは市長挨拶・「環境川柳」授賞式・小中学生のエコ活動発表・アニメ「アイス・エイジ2」を上映しました。

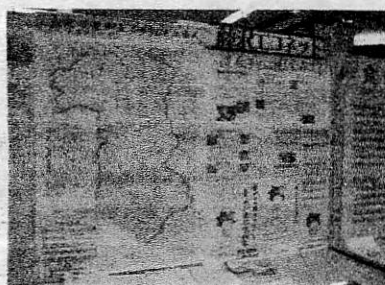
奥田公園多目的広場～前庭～ピロティー～公道では天然ガス車展示・イタリア製電気自動車展示・起震車体験・こども昔あそび・手作りおもちゃ教室・ペットボトルふたつかみどりゲーム・わたがし・包丁とぎ・藤沢の花「ビアンカ・ロッソ」直売・ヨーヨー釣り・ペットボトル万華鏡作り・ソーラークッカーデモンストレーション・電気自動車試乗体験



エコ活動発表鶴沼中落合君

クイズラリー

エコ活動発表明治中長久保さん



藤沢エコネット



山本市長電気自動車試乗



石けん推進協議会



受付



TV取材



エコパートナーOB会



湘南のなぎさを守る会



藤沢メダカの学校



食生活研究会



地球温暖化についてのミニレクチャー



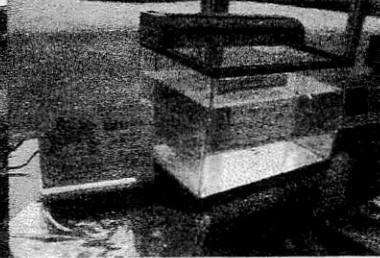
昔あそび竹馬



藤沢小生ごみ堆肥化事業



海浜植物の保護育成



藤沢メダカ

2007年6月22日(夏至) ~24日(日) 20:00~22:00



1000000人のキャンドルナイト湘南

1年で1番短い夏至の夜、でんきを消して、
キャンドルの灯を楽しんでみませんか？

でんきを消してスローな夜を・・・という呼びかけで始まったキャンドルナイトが今年も全国で開催されました。湘南では江の島展望灯台のライトダウンを始め、各地でキャンドル営業なども行われましたが、今年はこのキャンペーンに連動して全国で「豪快な号外」が配布されました。

～～＊～～＊～～＊～～＊～～＊～～＊～～＊～～＊～～

例えば、藤沢市では市内小中学校での配布に加え、6/20,21 朝には湘南台駅での配布、6/22 夏至は六会日大前、湘南台、藤沢、他各地でいっせいに 40 人近いメンバーで豪快に楽しく配布を行いました。また 23,24 日のふじさわ環境フェアでも配布、その他お店などにも置いていただき、藤沢市内で約 4 万部の配布となりました。

キャンドルの灯りでこの号外を家族で読んで、語り合っていたら・・・という思いで、みんなでちょっと動けば変わるというライフスタイルの提案を行う「豪快な号外」。冬至のキャンドルナイトへ向けて、まだあちこちに設置していく予定です。ご希望の方はぜひご連絡ください。090-2935-4545 (よしだ) まで
配布にご協力くださったみなさま、本当にありがとうございました！

<http://www.r134.jp>

湘南のキャンドルナイト
をご紹介します。

<http://team-gogo.net>

Yes is love

～みんなでちょっと動けば変わる
夏至の6/22を中心に全国で
3000 万部の「豪快な号外」
を配布！湘南地区でも藤沢
市、鎌倉市、茅ヶ崎市、海老
名市、平塚市などで多くの有
志たちが TEAM GOGO! メ
ンバーとして動きました。

★次は選挙へGOGO！

「100万人のキャンドルナイト」ホームページ

<http://www.candle-night.org>



荏原ダイオキシン問題

焼却炉解体撤去工事説明会

7月8日(日) 9:30~11:00

荏原製作所藤沢事業所 会議室

申込み受付 0466-83-8110 (総務室 9:00~16:00)

藤沢・ごみ有料化訴訟を支援する会発足集会

藤沢ごみ有料化条例の行方は??

7月12日(木) 18:30~

場所 藤沢産業センター6階 資料代500円

主催/問い合わせ 渡辺 27-9828



県環境基本計画の18年度の進捗状況にご意見を

進捗状況は県政情報センターやホームページで7/25から公表します

<http://www.prtf.kanagawa.jp/osirase/kankyokeikaku/keikaku/h19/index.html>

ご意見を募集します

問合わせ 環境計画課へ8/25まで ☎ 045-210-4061

慶応大学七夕祭り

フリーマーケット 模擬店 花火 ステージ公演などの催しをします

とき 7月7日(土) 午後0時30分から

ところ 慶応大学湘南藤沢キャンパス

主催 第18回七夕祭実行委員会

☎ 47-5111



藤沢エコネットから

堆肥化センター見学を9月に予定しています

会員募集→会費3000円 振込口座は→郵便局へ→00240-9-46501 藤沢エコネット

次回事務局会議

7月18日(水) 17:30~ 市民活動推進センター

《編集後記》おいしそうなコロッケが店頭に並び安いので買いたくなる。そんな気持ちを裏切るミートホープのこの事件には驚いた。雪印 不二家 ヤクルトもひどかったがまだかわい。しかし手軽に揚げ物が食べられるという傾向でいまだき自宅で作る家庭は少ない様だが、そこにつけ込んだ許せない犯罪だ。安く作るためなら何をやっても良いという風潮になぜ責任者はストップできないのか。欺瞞とねつ造の許せない事件である。(H)

「ごみ有料化実施延期署名」5400筆、「中止署名」7288筆
12880筆の請願署名、6月市議会に提出

藤沢市は、平成18年9月議会で、「ごみ有料化条例」を制定し、平成19年10月から実施することを決定しました。しかし、市民の多くは、ごみ有料化に反対し、昨年9月議会の4万を超える反対署名に続き、今年また、「藤沢ごみ有料化問題市民の会」を中心に5400筆の「ごみ有料化実施延期の請願署名」が6月市議会に提出されました。

しかし共産党4名、神奈川ネット1名、市政市民派2名、計7名の賛成のみで不採択となっていました。

一方「平和な民主藤沢市政を作るみんなの会」から提出された7480筆の請願署名も、また共産党議員団から提出された有料化中止条例も、不採択となっていました。

しかし、有料化条例制定後も、市民から、延期署名5400、中止署名7480、計12880筆もの署名が提出された事は、ごみ有料化問題が争点となる来年2月の市長選挙に向けて、昨年の4万を超える条例制定反対署名と合わせて、大きな影響力を与えるものと思われます。

「藤沢市のごみ有料化無効・差し止め裁判」

7月12日に「裁判経過報告・支援する会発足集会」

今年3月、「藤沢ごみ問題市民の会」会員の渡辺博明、諏訪謙司、小林麻須男の3氏が、横浜地方裁判所に「ごみ有料化条例の無効確認と施行差し止めを求める」訴えを起こしました。これは、藤沢市は昨年9月、ごみ有料化条例を制定し、今年10月より家庭ごみの有料化を開始する予定としていますが、原告らは、このごみ有料化条例が、地方自治法227条に違反する違法・無効の手数料の徴収であることを、裁判に訴えたものです。現在、裁判は、弁護士を付けない原告訴訟で法廷を進めておりますが、原告勝訴に至るまでは、専門家の助言並びに多くの皆様方の物心両面にわたるご支援がどうしても必要と言うことで「藤沢ごみ有料化裁判を支援する会」を発足させることになったものです。

- ①、日時 7月12日(木) 18時30分より
- ②、場所 藤沢産業センター6階 談話室
- ③、参加費 500円(会場費並びに資料代として)

なお、第3回裁判日程は、下記の通りです

9月3日(月) 午前11時30分 横浜地方裁判所弁論準備